

岩手県紫波町

学校

紫波町立日詰小学校

学校運営協議会

日詰小学校学校運営協議会

令和4年4月1日 設置

委員構成

- 1号委員：PTA会長・母親委員
- 2号委員：商工会長・商店街会長・保育士・商店主
- 3号委員：公民館長
- 4号委員：学校長
- 5号委員：元地域おこし協力隊など 10名

※事務局：副校長・公民館指導員・CSコーディネーター

会議回数

年間平均4回

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員 0名 (0名)

地域コーディネーター 1名 (0名)

地域学校協働本部

日詰小学校地域学校協働チーム

地域学習（花の虹タイム）の実践等

背景・取組概要

令和4年度全国学力状況調査「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「自分にはよいところがある」の肯定的な回答が低いという課題を学校運営協議会で熟議し、「児童自身が自分の未来を主体的に考え、自信をもって未来への展望を持つことができる児童の育成」をめざし、課題解決に向け**学校と地域と一緒に地域学習（以下「花の虹タイム」）を全学年において見直し、教育課程そのものを再構築する必要があった。**

→**学校や地域に愛着と誇りを持ち、夢や未来を切り拓こうとする子を育てる（地域への愛着・自己肯定感の向上）**

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆ 学校運営協議会

児童や地域の課題解決に向け、熟議（CSコーディネーターがファシリテーター）では主に「**花の虹タイム**」について協議している。熟議では、**委員の地域学校協働活動への主体的な関わりを分担**したり、地域情報を提供したりすることで「花の虹タイム」が充実してきている。また、新たに**岩手県立大学生も参加**するなど多様な立場からの意見が反映された協議会運営となっている。

委員は1年毎に構成され、「花の虹タイム」を中心とする地域学校協働活動に委員が主体的に参画することで、**委員自ら地域を元気にする様々な地域学校協働活動を推進する原動力となり、学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的取組が進んでいる。**

◆ 地域学校協働活動

6学年「商店街学習」では、**大学生が商店をリサーチし、児童へのプレゼン、グループ分け、当日引率等の中核**となり、地域と学校の架け橋となった。このような動きは、**地域の新たな横や縦のつながりが構築され、地域全体で児童を支えようという機運が高まる**とともに、発表会には、大学生や訪問先の地域の方が多数参観するなど**学校への興味・関心が高まっている。**

◆ 社会に開かれた教育課程

令和4年度2単元で始まった地域学習は、「花の虹タイム」として地域学習を全学年で見直し、令和5年度9単元、令和6年度3単元（+親子行事6行事）を新たに系統化している。また、**単元実施前には、学校長・CSコーディネーター・学年担任が委員とともに、地域講師や大学生と内容を協議し、学習内容を検討**することが通常化されたことで、**社会に開かれた教育課程が充実・系統化し、児童の学ぶ意欲の向上**につながっている。



給食試食後に学校運営協議会



大学生のガイドで商店街での体験学習



単元実施前、講師と学習内容検討中

成果・効果

◆ 学校と地域（大学生含む）が協働して進める「花の虹タイム」実践の積み重ねにより、児童の地域への貢献意識（指標1）と自己肯定感（指標2）が実施前や県比を超えるなど、**地域への愛着意識と自己肯定感の向上**が顕著である。

◆ **花の虹タイムが多様に実践される**ことで、地域のつながりが新たに構築され、地域で子供を育てる意識が高まり、**学校を核とした地域づくり**が進んでいる。

	指標1		指標2	
	本県	本校	本県	本校
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う（肯定的回答）				
R4	58.0%	54.0%(-4.0)	77.0%	62.0%(-15.0)
R6	83.6%	87.0%(+3.6)	80.6%	84.1%(+3.5)